

令和8年1月吉日

各位

公益社団法人 神奈川県病院薬剤師会 会長 山田 裕之
同 中小病院診療所委員会 担当副会長 喜古 康博
同 中小病院診療所委員会 委員長 稲葉健二郎

令和7年度 横浜市鶴見区・鶴見薬剤師会 合同研修会のお知らせ

先生方におかれましては、ますますのご健勝のこととお慶び申し上げます。

横浜市鶴見区において、病院薬剤師と薬局薬剤師は垣根を越えて連携し、患者情報や地域資源を共有しながら継続した薬物療法を支えています。本講演では、2人の先生から退院時の情報連携、ポリファーマシー対策、疑義照会・トレーシングレポートの活用など、日常業務で実践しやすい連携のポイントを具体的な事例を通してご紹介いただきます。病院と薬局が地域とともに患者を支えるパートナーとしての役割を再確認できる機会となれば幸いです。万障お繰り合わせの上、ご参加賜りますようお願い申し上げます。

テーマ：地域連携

日時：令和8年3月4日（水） 19:00～20:30

場所：オンライン（Zoom 配信） *安定した通信環境が準備できる場所でご視聴ください。

定員：150名（下記サイトより登録してください。）

—登録者のみに視聴用のID・パスコードを2月24日（火）頃にメールにてお知らせします

病院薬剤師会 参加者登録

URL：<https://forms.gle/iiDjr1UeKc5Hw7p76>

鶴見薬剤師会会員の方は、鶴見薬剤師会HPよりお申し込みください。



登録期間：令和8年2月1日（日）～ 令和8年2月18日（水）

*定員となり次第、締め切らせて頂きます。また、参加費の徴収方法は後日お知らせ致します

参加費	： 当会会員	無料
	非会員	①日本病院薬剤師会会員 500円
		②上記団体に属さない非会員 1,000円

プログラム

総合司会 齋藤 謙治（済生会横浜市東部病院 薬剤部）

講演①(19:00～19:30)

「連携の本質は情報ではなく“関係性”

— 患者中心の医療をつなぐ、地域協働モデルを目指す —

済生会横浜市東部病院 薬剤部 大幸 淳 先生

講演②(19:30～20:00)

「薬薬連携、継続は力なり、継続は絆なり」

鶴見薬剤師会理事 田辺薬局 薬局長 松島 大輔 先生

パネルディスカッション(20:00～20:30)

司会 稲葉 健二郎（総合相模更生病院 薬剤部）

テーマ：地域連携のすゝめ

・事例提示と総合討論

大幸 淳 先生

松島 大輔 先生

- 2024年4月から、日病薬病院薬学認定薬剤師研修支援システムにより、認定単位が電子化されました。日病薬クラウド型会員管理システムへの登録が必要となりますので、日病薬HPをご確認ください。なお、非会員の方も登録が必要です。
- 本研修会の出席登録および出席承認は、研修会終了後に主催者である当会が行います。日病薬会員管理システム（シクミネット）の入力必須項目のうちメールアドレス、生年月日、薬剤師名簿登録番号の情報に関して、正しい情報でない会員が多数確認されております。正しい情報でない場合、研修会単位付与がされない可能性がありますので、当該項目に関して再度ご確認をお願いいたします。

この研修会は日病薬病院薬学認定薬剤師制度認定単位（Ⅲ-2）1.0単位の単位認定を申請中です。但し講演開始30分を経過した後は、認定単位を付与できません。

- キーワードによる受講確認を行います。回答されていない場合や内容に誤りがある場合には、認定単位を付与できません。
- Zoomをインストールの上、ご参加ください。タブレット、スマートフォンではなくPCでの視聴を推奨いたします。
- 1端末1名での参加とします（1端末で複数人の視聴は問題ありませんが、認定単位の取得は申込者のみとなります）
- 研修会を途中退室しますと原則、認定単位は付与できません。
- Web講演内容の録画・録音・撮影、SNS等への投稿は固く禁じます。
- 利用者以外の方への招待メールの転送・開示・Web内容の開示ならびに利用者以外の方を参加させることは禁じます。
- 利用・通信環境に起因するいかなる影響、損害に対して当会は一切責任を負わないものとします。
- Web講演会の利用に関わる通信料・接続料等一切の費用は利用者の負担とします。
- お支払いいただきました参加費につきましては、当会のトラブル以外の如何なる事情におきましても返金致しかねますので、予めご了承の程宜しくお願い致します。

共催 神奈川県病院薬剤師会 鶴見薬剤師会

公I-2 他団体との合同研修会